



## 桜舞う木の下で海の幸を味わう! 第22回 あわびの里フェスティバル

5月15日、八重桜が満開を迎えた熊石青少年旅行村にて「熊石あわびの里フェスティバル」が開催されました。花見に絶好な天気となり、バスツアーや札幌からの来場者約2万人が、熊石の旬のあわび、エゾバカ貝（アオヤギ）の浜焼きやあわび料理に舌鼓を打ちました。ステージイベントでは、伝統芸能相沼奴、日本海はまなす太鼓が披露されたほか、あわびなどを貰えるゲームや抽選会が行われました。札幌からの来場者は「桜がきれいで、イベントもあり楽しい」「食べ物おいしい」と笑顔で話しました。



## 合併10年記念事業! みんなでつくって遊ぼう! 親子ワクワク工作ショー

5月8日、八雲町地域子ども会育成連絡協議会合併10年を記念し、わくわくさんでおなじみの久保田雅人さんによる「親子ワクワク工作ショー（シルバープラザ）」が開催され、講演には親子130名が参加しました。この日は、新聞紙の的当ててっぼうやごみ袋で作った風船、紙コップで作るロケットとUFOが紹介されました。子どもたちは、久保田さんと一緒に遊び、おもちゃ作りをしながら、ドキドキわくわくのショーを楽しみました。



## 高台目指して避難訓練! 相沼小学校 地震・津波避難訓練

地震が発生し、津波が来襲したことを想定して、4月18日、相沼小学校で避難訓練が行われました。相沼小学校では毎年避難訓練を行っており、午前10時35分から始まった訓練には全校児童や教員、町内会など約40人が参加しました。グラウンドに集合した児童たちは、津波の発生を知らせる校内放送を合図に、一斉に約400m離れた高台の避難場所を目指しました。最後に見延誠一（みのべせいいち）校長が、「災害はいつ起こるかかわからないので普段から家族と話し合う事が大切です」と児童たちに語りかけました。

